

平成26年度 明神小学校「学力向上実行プラン」

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員 会	
	職 名 ・ 校 務 等 担 当 名
管理職	校 長・総括 教 頭・企画運営, 教育計画
学力向上推進員	教 諭・学力向上推進
委員	教 諭・教務主任 (低学年担当) 教 諭・研修主任 (中学年担当) 教 諭・6年担任 (高学年担当) 教 諭・人権教育主事 教 諭・特別支援学級担任 (特別支援コーディネーター) 養護教諭・保健主事

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児 童 生 徒 の 状 況			
よ さ	朝の活動の時間や各教科の授業中は, 全員静かに席に座り, 与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる。	課 題	漢字を使わない, ものさしを使わないなど, 丁寧さや正確さに課題がある児童がいる。特に家庭学習については, 個人差が大きい。また, 高学年になるほど読書量が少ない。
具体的目標 (目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
家庭学習を毎日確実にきちんと仕上げる ことができ, 基礎的・基本的な知識・技能を身につけることができる。		家庭学習の提出率を90%以上, 基礎的・基本的な事項についての確認テストで学級正答率を80%以上にする。	----- 評価
具体的方策 (教員の取組)		取組指標	取組状況
① 計画的に宿題を出し, 提出状況や取り組み方を把握する。 ② 漢字や計算の確認テストを定期的に行ったり, 読書習慣の定着のため, 読書活動の機会を増やしたりする。 ----- * 中間期の見直し		① 提出状況や取り組み方を把握し, だよりやHPなどで保護者に伝える。 ② 朝の活動の時間を漢字や計算のドリルや読書活動に計画的に活用する。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況			
よさ	話し合いの仕方を理解し、自分が伝えたいことを話したり聴いたりしている。また、決まったことを実行するため、今までの振り返りを生かして話し合いを進め、実践するようになってきている。	課題 自分の考えを相手に分かるようにまとめたり、表現したりすることに課題がある。また、書くことに苦手意識をもつ児童もいる。	
具体的目標（目指す子どもの姿）		成果指標	達成状況
どの教科の学習においても、自分のもっている知識・技能を活用して、相手意識をもって、自分の考えを進んで表現できる。		一日1回以上発表する児童を80%以上にし、理由をつけて発表できる児童の割合を70%以上にする。	----- 評価
具体的方策（教員の取組）		取組指標	取組状況
①どの教科の学習においても、書く活動を積極的に取り入れて指導する。 ②話すための型を用意し、話すことへの抵抗をなくすとともに、最後までしっかり話を聴くという雰囲気をつくる。 * 中間期の見直し		①学習や活動の成果や振り返りを必ずノートやワークシートに書くようにする。 ②全クラスに、話すための「型」を書いた掲示物を貼り、活用する。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況			
よさ	チャイムを守って席に座ったり、教師から指示されたことは、友達と協力して最後まで取り組もうとしたりしている。	課題 自分から課題や問題点を見つけたり、考えたりすることができにくい児童がいる。私語をしたり、話を集中して聞けなかったりする児童もいる。	
具体的目標（目指す子どもの姿）		成果指標	達成状況
どの教科の学習においても、自ら課題や問題点を見つけ、進んで考え、取り組んでいこうとすることができる。		私語をせず、話をしている人の方を向いて聞き、聞き手に向かって話をするという規律を学級の90%の児童ができる。	----- 評価
具体的方策（教員の取組）		取組指標	取組状況
①「聞く・話す」の型を各教室に掲示し、徹底する。 ②教師が意識して、授業中に話し合い活動を組み込む。 * 中間期の見直し		①「聞く・話す」の型を使い、話し合い活動を徹底する。 ②話し合いを通して考えを練りあい、自分たちの力で解決した充実感を味わわせる。	
達成状況を踏まえた改善事項			

